

平成16年7月発行



広報 - 第1号 -

みやぎ

発行元 独立行政法人国立病院機構 宮城病院

発行責任者 齋藤 博

〒989-2202 宮城県亶理郡山元町高瀬字合戦原100番地

TEL 0223-37-1131 FAX 0223-37-3316

ホームページ <http://www.mnh.go.jp>

基本理念

私たちは、国立病院の使命を認識し、当院を利用されるすべての方々に信頼され、かつ満足していただける医療サービスと生活支援をめざしております。



ご挨拶

独立行政法人国立病院機構
宮城病院長 齋藤 博

平素より当院の運営にご理解とご支援を賜っておりますことを深く感謝申し上げます。

さて、ご承知のように、全国の国立病院・療養所(ナショナル・センターとハンセン療養所を除く)が本年4月1日から独立行政法人国立病院機構として新たにスタートいたしました。法人全体の理念は「国民一人一人の健康と我が国の医療の向上のためにたゆまぬ意識改革を行い、健全な経営のもとに患者の目線に立って懇切ていねいに医療を提供し、質の高

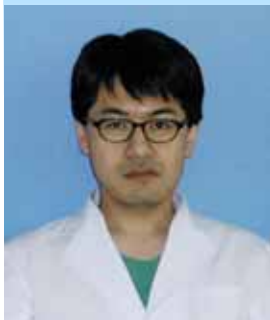
い臨床研究、教育研修の推進につとめます」とされております。

当院では独立法人化を機に病院理念や行動目標等を新たに策定し、さらに広報誌「みやぎ」を発行することになりました。本広報誌を通じて当院の診療機能や取り組みをご紹介します。地域の医療・福祉・行政関連の方々との連携をさらに深めていきたいと願っております。

今後とも、地域の皆様に信頼され、かつ満足していただける「宮城病院」を目指す所存であります。

よろしくご支援賜りますようお願い申し上げます。

夜間・休日のアポ当直医が常駐になりました



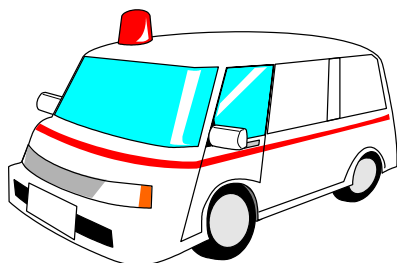
脳神経外科医長
安藤 肇史

平成16年5月からアポ当直が始まりました。アポ当直とは、神経内科・脳神経外科医師が通常の当直医以外に院内に常駐する制度です。つまり当院では休日、夜間も含め24時間中、神経専門の医師が院内にいるということになります。そのため救急隊あるいは紹介医が脳卒中と判断し当院での治療を要請する場合、直接アポ当直に連絡がとれるようになりました。

脳卒中は心筋梗塞とともに最も緊急性の高い病気です。現在多くの病院で救急患者を受け入れています。ここでは当直医が診察した後、必要があれば専門の医師を呼ぶという診療体制が一般的です。しかし、脳卒中は時間との戦いです。初診時から神経専門の医師が診察すれば時間的ロスを防げます。アポ当直制の一番のメリットはこの点にあります。

まだ始まったばかりの制度で今後改善すべき点もでてくるでしょうが、一人でも多くの患者さんに良い結果が得られるようにしていきたいと思えます。

(文責:安藤 肇史)



救急車搬送患者数の推移(月平均)

	単位	14'	15'	16'
救急車搬送患者数	人	25.5	37.8	43.7
紹介率	%	38.9	41.3	46.0

16'は6月迄実績

職場紹介

～ 地域医療連携室 ～

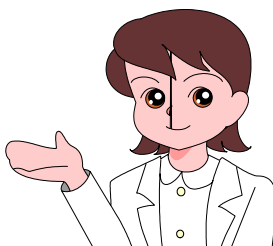
当院では、地域の医療機関、福祉施設、行政機関等と円滑な連携を図るべく、地域医療連携室を開設することになりました。対外機関と、当院の連絡・調整が主な業務となります。

当面の具体的な業務は

- ・他医療機関からの紹介に関する連絡・調整
- ・医療福祉相談(医療相談室が地域医療連携室へ統合)
- ・当院への患者様紹介、当院から他機関への患者様逆紹介の状況の把握
- ・紹介元機関へ紹介患者受診・入院の報告
- ・在宅支援カンファレンスの連絡・調整となります。

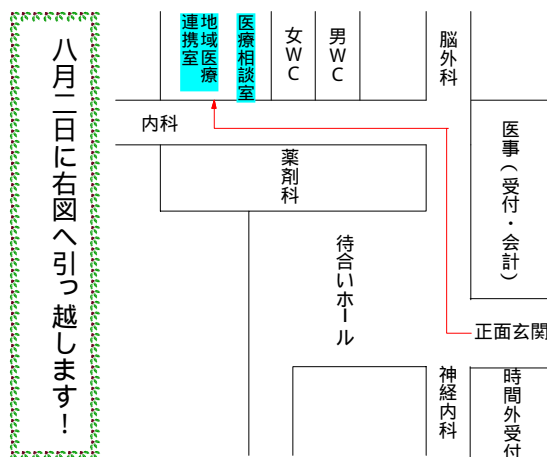
現在、より円滑な業務運営をすべく、各機関と調整中ですが、ご不明な点、ご要望などがございましたら、ご遠慮なく地域医療連携室へご連絡下さい。

連絡先 0223-37-1131(代表)
FAX 0223-37-3316(代表)



地域医療連携室メンバー

写真左から、庄司医療相談係、金田室長、鈴木地域医療連携係



セミオープン登録医の先生方から

名取 達夫先生

～名取医院と国立療養所宮城病院（現独立行政法人国立病院機構 宮城病院）との関係～



名取達夫院長

名取医院のご紹介

名取外科医院は、昭和34年8月、現在地角田市で開業いたしました。丁度44年になります。はっきりした統計はありませんが、随分前から脳神経内科関係患者さんについては宮城病院さんにはお世話に相成って居りました。

平成元年からの当院より宮城病院さんへの紹介患者数は、平成3～7年は20、34、26、22、20件となって居ります。これは息子の徳彦（東北脳神経内科出身、現在国保丸森病院副院長）が手伝ってくれた年の様です。その他の年は半分位です。

平成12年5月10日セミオープン登録医に認定されました。今後は更に御世話に相成る事と思います。相変わらざる御指導、御教示を宜敷く御願ひ申し上げます。

平成16年7月23日 名取 達夫

診療科 / 外科・内科 住所 / 〒981 - 1505 宮城県角田市角田字南61 - 1
電話 / 0224 - 63 - 2347



名取医院

[セミオープンとは?]

地域の開業医の先生方が、当院の医療設備の一部を利用いただき、当院医師との連携のもとに協同して診察と研修に当たることができるシステムです。

利用可能な医療機器は、MRI・CTスキャン・SPECT・DSA・デジタルX線装置・高性能超音波検査機器・テレビ内視鏡装置があります。

地域の先生方へお願い

あらかじめ登録医の申請が必要になります。詳しくは地域医療連携室までお問い合わせ下さい。問い合わせ先 0223 - 37 - 1131（代表）

生活習慣病を予防しよう - 糖尿病編 -

栄養管理室から



糖尿病はかなりポピュラーな病気と考えられていますが、ほんとうは、いや～な病気なんです。

一般に、「がんの疑いです」とか「心筋梗塞の疑いがあります」などと診察されたら、ドキッとしますが、血糖値が少し高いようですよと言われても「チョット甘い物でも控えたらいいでしょ！」くらいにしかな感じていないかも知れません。

しかし、「チョット甘い物……」から始まって、失明、腎不全、壊疽にまで及ぶことがありえます。

糖尿病の患者には、狭心症や心筋梗塞・脳卒中の方が多く、太り気味で高脂血症や血圧が高い人も多くいます。そのためHDLコレステロールが少なく、反対にLDLコレステロールが多く動脈硬化になりやすい状況になります。

まさしく成人病すべてを背負っている訳です。本腰を入れて食事対策を考え生活習慣を改善しなければなりません。

お酒大好きお父さんへ

「お酒を飲んじゃだめ」などとは言いません。ただし量を考えてください。まずは積極的に少しずつ量を減らすこと。次に飲まないで我慢する日を作ること。意外にこれができるんです。

飲んだ後のラーメン、お茶漬けは出来ればやめましょう、肥満の解消にはほど遠くなります。

外食の多いお父さんへ

御飯の大盛りはやめましょう、糖質が高くなるだけでなく確実に太ります。

丼物も考えましょう。おいしくてパパッと食べられて忙しい人には最適でしょうが、丼物は糖質も「お肉」も塩分も高いので、糖尿病傾向があって、太りすぎで血圧の高い人には敬遠して欲しい食べ物です。

現代の進歩した技術や生活リズムの速さが「良い食事を摂る」という事を困難にしている様な気がします。

「なぜ食べるのか」を、よ～く考えて健康で楽しい人生を送りましょう。

診療科別		月	火	水	木	金
内科	予約再来	舟生 岳晴	渡邊 哲子	渡邊 哲子	(糖尿病外来) 舟生 岳晴	金田 京子
	新患・予約外再来	金田 京子	金田 京子	金田 京子	金田 京子	舟生 岳晴
	入院患者他科受診				渡邊 哲子	
神経内科	新患	久永 欣哉	望月 廣	齋藤 博	齋藤 博	藤井 玲子
	再来		齋藤 博	藤井 玲子	久永 欣哉	日沼 雄二
	再来	岩崎 祐三	加藤 昌昭	及川 崇紀	望月 廣	
呼吸器科		座安 清	座安 清	病棟回診	座安 清	座安 清
消化器科		阿部 毅	検査	検査	阿部 毅	検査
小児科	午前	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩
	午後		(乳児科-外来) 堀川 雅浩	(第1・3)乳児健診		
外科		岩附 昭広	岩附 昭広	手術日	岩附 昭広	岩附 昭広
脳神経外科		志田 直樹	安藤 肇史	志田 直樹	手術日	安藤 肇史
皮膚科					第4(木)のみ	
リハビリテーション科				(第2・4午後)新藤 恵一郎 (入院患者対象)		
歯科		小西 寛子	小西 寛子	小西 寛子	小西 寛子	小西 寛子

ご注意ください

受付時間は午前8:30～11:00です。

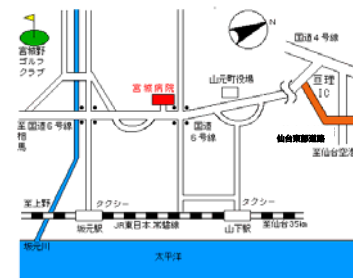
土曜日・日曜日・祝祭日及び年末年始(12月29日～1月3日)は休診です。

ただし、救急の方は随時受け付けいたします。

お問い合わせ先 0223-37-1131

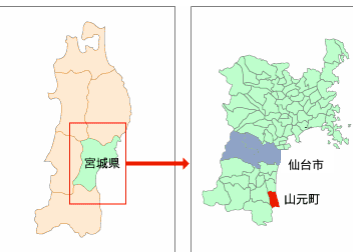
当院で新たに診察される患者さまは、前に受診・通院されておられました病院などの「紹介状」を、なるべくお持ちくださいますようお願いいたします。紹介状がなくとも受診はできますが、その場合初診時に2,625円を負担していただくことになりますので予めご了承願います。

交通のご案内



自動車でおいでの方
 仙台方面から
 仙台市中心部から南へ約40km、国道4号線6号線の分岐点から南へ約20km、国道6号線314.5kmポイントの位置です。

相馬方面から
 国道6号線を仙台方面に向かい、宮城・福島県境から約10分です。



鉄道でおいでの方
 仙台方面から
 JR常磐線山下駅下車、徒歩で約5分
 相馬方面から
 JR常磐線坂元駅下車、徒歩で約5分

山元町の特徴

編集後記

このたび、広報「みやぎ」を発刊することとなりました。本誌を通じ、関係機関のみなさま方が、当院の病院運営への理解を深めていただければ幸いです。今後ともよろしく御願いたします。

秋には「鮭の腹子飯」、冬から春の「ほっき飯」、初夏の「アナゴ丼」などが有名です。浜上げの新鮮な魚など海の幸に恵まれ、地場のイチゴ、リンゴなどの果物も自慢です。最近では、仙台のベッドタウンとしての性格も強くなり、新興住宅地の開発も進んでいます。

